

子育て応援コラム

その子らしい成長を尊重するかかわり方

一人として同じではない個性を持った子供たちが、その子らしい成長を尊重されるために、大人の関わり方の基本を考えてみましょう。

成長が尊重されることとは、子供たちが安心して安全に、楽しく暮らせることだと思います。

★子供がなぜそんなことをしているのか、しばらく見守る

大人の目にはわからないことや困ることに対して、「はやく、はやく」「きたない」「何回言ったらわかるの」「それをさわっちゃだめ、登っちゃだめ」等々、子供の行動の直後に思わず口をついて出てしまう場面が多くあります。大人は自分の先入観を超えて、子供から学ぼうという姿勢を持ってしばらく見守ると良いと思います。とても簡単なようでいて、案外なおざりにされているかもしれません。

人間は、見たり、聞いたり、触ったり、かいだり、味わったりなど、感覚器官によって外界の刺激を受け入れ、それが脳に伝わって運動器官に指令が出され、行動となって現れると言われます。幼児期は、これらの器官が成長し、完成されていく時期なので、子供たちが何かに夢中になっているのは、子供が動きながら学び、大いに成長をしている姿でもあります。子供時代にしかない学び方を理解し、尊重したいですね。

気になること、わからないことがあれば、こども家庭センターの相談をご利用ください。

★参考図書

「0・1・2歳児の保育で大切なこと：幼い人たちとの豊かな暮らし方」

工藤美代子著

(保育士さん向けの本ですが、保護者にもとても参考になります。)

こども家庭センター
臨床心理士・公認心理師 須摩智佳子

子育て情報誌



あのね・・・



令和7年 4月 1日発行 No.42
羽村市こども家庭センター

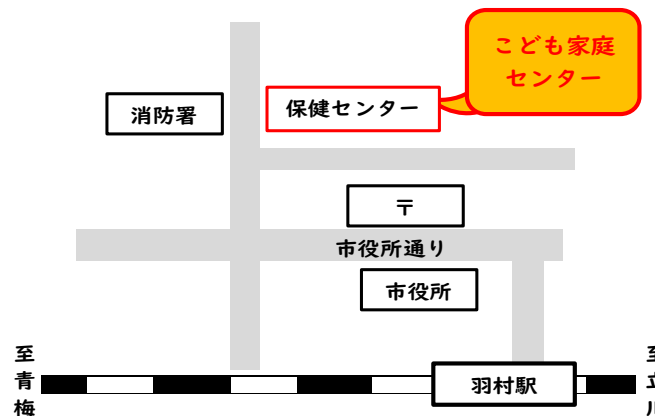
子ども家庭支援センターが移転、名称変更しました

4/1から子ども家庭支援センターが羽村市役所2階から保健センター2階に移転します。また、名称や連絡先が変更になりますので、ご確認の上ご利用をお願いします。

【名称】 こども家庭センター こども家庭支援係
【場所】 羽村市保健センター内 2階
【連絡先】 042-578-2882
042-555-1111 (内線 671~674)

アクセス

羽村駅より「はむらん」で「保健センター」に下車
羽村駅から徒歩 約20分



保健センター正面玄関入ってすぐ左の階段を2階にあげてください
こども家庭センターこども家庭支援係になります。



18歳までのお子様、保護者の方の総合相談窓口になります。

★どうぞ、お気軽にお立ちよりください★

羽村市の子供が、心も、体も幸せに生活できる社会を作るため、「羽村市子ども計画」を取りまとめました。計画に基づき、子供や子育てに関する様々な支援に取り組んでいきます。

「ともにはぐくみ ともにそだつ こどもまんなかはむら」

今後、羽村市は子供を多様な個性を持った権利の主体としてとらえ、様々な場面で意見を聞き、その意見を市政に生かしていきます。計画の詳細は、右の二次元コードからご確認ください。



実現を目指す「13の社会」を表した「こどもまんなかカード」



こども大綱で示された「こどもまんなか社会」の例を元に「はむらこどもまんなかカード」を作成しました。このカードの内容を実現した社会が「こどもまんなか社会」です。

イヤイヤ期が始まったら皆さんはどのように対応していますか？

否定したり怒ったりすると余計に酷くなるので、共感するようにしています。毎回反応していると悪い行動を強化するので、時々によって対応を変えてみるのも良いと思います。ひどいときはハグして落ち着かせるか、落ち着くまで反応しません。



2歳3か月の子どもがいます。イヤイヤ期に入りました。とにかく共感するように心がけています。大変な時期ですがお互いに頑張って乗り越えましょう！



イヤイヤ期は脳が発達している証でもあるので、「あきらめる」ことも大事なことです。永遠には続かないので大変ですが本児が気が済むまで待ってみるのも手段ではないでしょうか。



皆さんが育児で感じたこと疑問に思ったこと、子育ての悩みやヒント、子育てあるある、つぶやきなどを記入して共有してみませんか。地域の皆様ならではの情報やコメントがありますので、ぜひお気軽に見に来て下さい★

実施場所：西児童館、中央児童館

